

学校給食週間のはじまり

学校給食は、今から約130年前、明治22年に始まりましたが、戦争で中断してしまいました。第2次世界大戦が終わると、日本では食べるものに困り、痩せて栄養失調になった子どもがたくさんいました。そのことを知ったアメリカの人々が、ラ・ラ（アジア救済団体）を作り、昭和21年12月24日に脱脂粉乳・小麦粉などを、東京の子どもたちにプレゼントしました。こうして、学校給食が再開されました。しかし、今は次の日から冬休みに入るため、1か月おくれの1月24日を給食記念日とし、その日から1週間を「全国学校給食週間」としています。

学校給食の歴史

年	学校給食年表
明治22年	山形県鶴岡町の大督寺におかれた忠愛小学校のお坊さん達が貧しい子どもたちに昼食を与えたのが、 日本の学校給食の始まり だとされている。
大正8年	東京の小学校でパンによる学校給食が始まる。
昭和7年	はじめて、貧困児童のための学校給食が実施される。
昭和15年	貧困児童だけでなく栄養不良、身体虚弱児童も対象に栄養的な学校給食が実施される。
昭和16年	戦争が激しくなり、食料不足のため給食が中止される。
昭和21年	戦後食糧難のため栄養不良になっている子ども達のために、アメリカから脱脂粉乳や小麦粉や缶詰が送られてきて、12月24日東京・神奈川・千葉で 再び給食が始められる 。
昭和29年	学校給食法ができる。 <u>大村市で初めての学校給食が、西大村小学校で実施される。(5月10日)</u>
昭和30年	<u>大村小学校・竹松小学校給食開始(9月12日)</u> <u>三城小学校給食開始(9月26日)</u> <u>中央小学校給食開始(10月3日)</u>
昭和31年	<u>福重小学校給食開始(2月13日)</u>
昭和33年	<u>鈴田小学校給食開始(9月15日)</u> <u>松原小学校給食開始(10月1日)</u> 全国の一部の学校で、学校給食に牛乳が出されるようになる。
昭和36年	<u>萱瀬小学校給食開始(3月11日)</u>
昭和37年	<u>三浦小学校給食開始(3月12日)</u>
昭和44年	<u>東大村小学校・黒木小学校給食開始(11月4日)</u>
昭和53年	<u>放虎原小学校給食開始(4月6日)</u>
昭和56年	<u>旭が丘小学校給食開始(4月7日)</u>
昭和58年	<u>富の原小学校給食開始(4月11日)</u> 大村市で米飯給食開始(9月)
平成元年	学校給食百周年(全国)
平成25年	小学校給食センター設立、調理開始(8月28日)
平成29年	<u>萱瀬中学校給食開始(1月10日)</u> <u>玖島中学校給食開始(10月11日)</u>
平成30年	中学校給食センター設立、調理開始(8月29日) 大村中学校・郡中学校・桜が原中学校・西大村中学校給食開始

